新庄小

センス・オブ・ワンダー（感じる心）の樹の紹介（～7月）

～　美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目をみはる感性を育むために　～

花や葉を支えているのは枝、枝を支えているのは幹、幹を支えているのは根。花や葉や枝や幹は見えますが、根は見えません。見えない根を太く丈夫に育てることで、美しい花が育ちます。子どもの感性（感じる心）を育てることも、木の根を太く丈夫に育てることと似ているように思うのです。

校長先生が、カミキリムシを木にもどしてあげようとしたら、はなれなかった。小さな虫なのに、強い力が出てすごいと思った。（２年男子）

あさがおの小さなはっぱはふわふわしているのに、大きいはっぱはぎざぎざしていてびっくりした。
（１年女子）

ねている妹の顔を見ていたら、にこっとわらった。楽しい夢でもみているのかなと思った。
（３年女子）

ぼくの家の近くにホタルがいっぱいとんでいた。ホタルのおしりがピカピカ光ってかわいいと思った。
（２年男子）

人の心はそれぞれなのに、みんなの心が一つにまとまることがある。なぜそうなれるのか不思議だ。
（６年女子）

ありは、１ぴき歩き始めるとどんどん行列ができ、カエルは１ぴきなくと仲間もつぎつぎなき始める。不思議だ。（４年女子）

家で食べたスイカの種を植えたら、芽が出てきた。どこまで育つのか楽しみだ。
（５年女子）

用水路の小さなすき間から植物が生えてきていた。すごい生命力だと思った。
（５年男子）

新庄市立新庄小学校
The sense of wonder だより
第２号　H30.7.19